

有明工業高等専門学校 数理・データサイエンス・AI教育プログラム
自己点検・評価結果(令和3年度)

審査項目	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
プログラムの履修・修得状況	教育プログラム構成科目を1・2年次の必修科目で構成しており、平成30年度以降の本学入学学生全員が履修する。修得状況については学生の進級状況を把握することにより確認することができる。修得状況に課題のある学生に対しては、科目担当教員・クラス担任教員がフォローする。
学修成果	プログラム構成科目を1・2年次の必修科目で構成しており、入学する全学生が履修している。また、毎年度履修学生に対してプログラム構成科目の「授業改善アンケート」を実施し、学修成果に関する結果をFD委員会で確認し、自己点検評価委員会への報告に繋げる。更に自己点検評価委員会での自己点検結果とあわせて、教務委員会での本教育プログラムを含めたカリキュラムの評価・改善に活用する。
学生アンケート等を通じた学生の理解度	本教育プログラム受講者である本学学生全員に対して「授業改善アンケート」を実施しており、FD委員会において学生の理解度を把握している。この内容から、学修成果に関する結果を自己点検評価委員会への報告に繋げる。また、自己点検評価委員会での点検結果と合わせて教務委員会での本プログラムカリキュラムの評価・改善につなげる。また授業改善アンケートを授業担当教員にフィードバックし、教員自らによる授業改善に活用している。加えてシラバスに科目のルーブリックが掲載されており、学生自身も理解度を把握できる仕組みとなっている。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	1・2年次の必修科目により教育プログラムが構成されているため、全学生が履修者となる。また本校ホームページに数理・データサイエンス・AI教育プログラムのページを作成し情報発信を行う予定である他、構成科目のWebシラバスにも数理・データサイエンス・AI教育プログラムについて記載し、在学生・入学希望者等へ周知する。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本教育プログラム構成科目は全て1・2年次の必修科目であるため、平成30年度以降の入学者は全員履修することとなる。全ての在学学生が履修者となる令和4年度以降の履修率は100%となることが見込まれる。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	令和3年度時点で教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には進路先や活躍状況(評価)を把握し、そのことから、本プログラムの進化改善(カリキュラムの改訂等)を検討する。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	令和3年度時点で教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には大学・専攻科、企業等に活躍状況について、アンケート等の調査を検討する。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	本プログラム構成科目は2年生までの必修授業科目群で構成され、情報系科目の基礎レベル科目群としての側面も有しており、「授業改善アンケート」では、「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」について、学生からのコメントも寄せられている。アンケート結果を踏まえ、学修成果に関する結果を自己点検評価委員会への報告に繋げる。また、自己点検評価委員会での点検結果と合わせて教務委員会でのプログラム構成科目の改善に繋げる予定である。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	履修学生による「授業改善アンケート」をとおして、収集結果の授業担当教員へ開示と自己改善を図る。また、学修成果に関する結果を自己点検評価委員会への報告に繋げ、自己点検評価委員会での点検結果と合わせて教務委員会でのプログラム構成科目の改善に繋げる予定である。